



つながっていく命、みんなの期待をありがたく思える子に。

6月8日の朝の登校時のことです。

「先生、ピロティにツバメが巣を作っているよ。」

昇降口の前で、4年生が教えてくれました。中休みにピロティに行ってみると、確かにツバメが巣作りをしていました。まるでスパイダーマンのように体を壁に這わせて、唾液と泥をこねたものを吹き付けていきます。何人ものちびっ子ギャラリーがいるのに、恐れずに夢中になって作っています。

「朝より、黒いところ（巣の部分）が増えた。」

私の隣に立った2年生が報告してくれました。きっと、登校時によく観察していたに違いありません。

本校の子どもが育つこの学び舎を、子育てができる、安心できる場所としてツバメが選び、巣を作る。なんて素敵なことでしょう。生命力あふれる子どもたちが、生命のリレーを身近に感じることができるのです。

7月末には夏休みに入ります。未だ、感染症の不安があり、命を守る意識が必要です。さらに、この長期の休みは、原爆の式典や終戦記念日など命の重要性に関わるニュースにふれることができる時期でもあります。また、家族や祖父母などと話をする時間が普段より増え、家族の心待ちの中、自分が生まれてきたことを知る機会を得やすいときでもあります。命を大切にし、みんなの努力や思いの上に自分の存在があり、それをありがたいと感じられる子どもに育ててほしいと願っています。そして、私たち職員も、自分の健康と桜台小の子どもたちの健康に留意し、命を大切にする心構えで臨んでいきます。

10日後（6/18）の巣の様子
 黒い巣です。ずいぶん大きくなってきました。せっせと口を巣にあてて作っています。どこまで頑張れるでしょうか。



6月23日です



学校へ行こう週間のお詫び

6月14日から18日までを予定していた、授業参観について17、18日を中止にしましたことについて、ご理解とご協力をありがとうございます。予定の保護者の皆様には、本当にご迷惑をおかけしました。つきましては、本来でしたら17、18日に参観予定があった保護者の皆様については、担任にお問い合わせいただければ、感染症に考慮し、7月中の日程でご案内します。